

平成30年度 ちはら台地区社会福祉協議会 事業報告
 全体会議及び全体行事

活動部門	内 容
総会 理事会	年1回 平成30年4月22日(日) 午前10時～ 支所会議室 第1回 平成30年7月8日(日) 午前10時～ 支所会議室 議題 「ちはら台福祉のつどい」開催等について 第2回 平成30年9月30日(日) 午前10時～ 支所会議室 議題 地区社協への新たな財政支援策等の活用について 役員、部会活動費及び費用弁償に関する細則制定 第3回 平成31年4月6日(土) 午前10時～ 支所会議室 議題 2019年度総会議案について
役員会	第1回 平成30年5月20日(土) 午後6時～ コミュニティセンター 議題 新事務所移転契約確認について 第2回 平成30年6月24日(日) 午後6時～ 社協事務所 議題 第2層協議体会議の進め方について
部会連絡会議	第1回 平成30年6月3日(日) 午前10時～ 支所会議室 第2回 平成30年9月16日(日) 午前9時～ 支所会議室 第3回 平成30年12月9日(日) 午前9時～ 支所会議室 第4回 平成31年3月3日(日) 午前9時～ 支所会議室
第2層協議体勉強会	第1回 平成30年7月27日(金) 午後6時～ 市津公民館 第2回 平成30年8月31日(金) 午後2時～ 辰巳公民館 第3回 平成30年9月27日(木) 午後6時～ 市津公民館
第2層協議体会議	第1回 平成30年12月9日(日) 午前11時～ 支所会議室 第2回 平成31年3月3日(日) 午前11時～ 支所会議室 議題 検討テーマの設定について⇒担い手不足
地区行動計画推進委員会	第1回 平成30年9月30日(日) 午後1時30分～支所会議室 第2回 平成31年4月6日(土) 午後1時～ 支所会議室 議題 地区福祉行動計画の進捗状況について
通いの場事業推進	平成30年4月～受付開始 14団体が活動 平成31年3月31日(日) 打合せ会開催 活動結果集約
役員研修会	平成31年3月9日(土) 於：そなエリア東京 防災体験研修 午前8時30分～午後4時 39名参加
社協新事務所スタート ちはら台福祉のつどい (街開き30周年記念)	平成30年6月1日(金) くださいな⇒自治会館へ移転(5/29) 平成30年10月7日(日) 午前10時～午後3時 オープニング 10時～「講演会」松下やえ子先生
秋の演奏会	第1部 11時～「いいあんばい体操」 第2部 12時～「体験・展示・相談コーナー」「試食コーナー」
福祉バザー	平成30年10月20日(日) 人材育成事業の一環 平成30年11月4日(日) 10時～ コミュニティセンター文化祭にて
災害支援ボランティア事業 市社協議会関係	平成31年2月9日(土) 午後1時30分～凶上訓練 42名参加 市社協評議員会 3回 地区社協連絡会 3回
広報活動	広報誌「かずさのみち」年2回発行

平成30年度 ちはら台地区社会福祉協議会 部会別活動報告

総務部会

部会名	総務部会	部会長	金子 隆由
取組内容	<p>各部門定例会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定時総会 30年4月22日(日)開催 ・ 理事会 年3回(7月8日、9月30日、4月6日) ・ 部会連絡会義 年4回(6月3日、9月16日、12月9日、3月3日) ・ 総務部会 毎月1回 年12回 ・ 各会議の議事録の作成 <p>イベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉のつどい 10月7日(日)開催 ・ 秋の演奏会 10月20日(日)開催 ・ 福祉バザーの開催 11月4日(日)コミュニティセンター文化祭会場にて ・ 災害支援ボランティア 図上訓練 31年2月9日(土)開催 ・ 役員等1日研修会 31年3月9日(土)そなエリア東京見学 <p>各部門の調停業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「通いの場」のサポート事業の推進 ・ 各部門の予算確保と決算の確認 <p>広報誌「かずさのみち」作成発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月、3月の年2回発行 		

直接支援部会

部会名	直接支援部会	部会長	鈴木 俊江
取組内容	<p>① 部会会議 (6回開催) 5/22・7/21・9/25・11/27・1/22・3/19 たすけあい隊ボランティア会議 (2回開催) 7/21・2/24 (7/21・「お菓の基本とつきあい方」講習会を地域包括支援センターと共催)</p> <p>② 取り組み事業及び実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たすけあい隊受付窓口・・・窓口開催日：232日 担当者人数：19名 ・ 相談支援・・・20件 ・ 直接支援・・・268件(預かり0件、付添い266件、家事1件、代行1件) 利用者数：33名 支援者数：16名 <p>③ 地区外研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉県ボランティアリーダーマネジメント研修(8/3)1名参加 福祉教育サポーター養成講座(8/6)3名参加 「いはら相談支援事業」活動支援要請講座(9/14)5名参加 千葉県地域福祉フォーラムシンポジウム(2/17)1名参加 市原市地域福祉関係者合同研修会(3/7)3名参加 <p>④ コミュニティセンター主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ちはら情報BOX「身近な福祉のお話」として講習会を開催。20名参加 		
	相談窓口	直接支援	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談は、日常生活の中での困りごとなどが多い。内容により「直接支援」または「関係機関」などへ紹介。 ・ 「福祉の総合相談窓口」として地域包括支援センター、中核地域生活支援センター、市社協と連携し、開催(1/19, 3/16) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通院、買い物の付添いが多く、定期的に利用されている。 ・ 全体として、総合病院や長距離の支援が増えている。 ・ 利用者支援者のコーディネートが難しい場合がある。 	

児童支援部会

部会名	児童支援部会	部会長	河本 千鶴代
取組内容	(1) 取り組み ①子育て中の親子が自由に参加し、相互に交流がはかれる場の提供 ②子育て相談支援並びに情報の提供 (2) 事業展開 ○親子交流, 集いの場提供・子育て相談窓口支援, 情報提供 ・『子育て広場』『広場のびのび』『すまいる』の運営		
	子育て広場	すまいる	
	(1) 部会会議 ①定例会 毎月1回開催 ②行事準備会を開催 (2) 活動報告・・・年間計画で毎回異なる企画を立てて、親子に楽しんでもらった。 ①毎月第2木曜日 10時～ ・計10回開催 (参加者) 274組, 311名 ②場所 ・ちはら台コミュニティセンター 農園、牧場など	(1) 部会会議 ①定例会 奇数月第2水曜日 (2) 活動報告・・・おもちゃ、遊具、絵本などのそろっている部屋でゆっくり親子友人と過ごせる場の提供・運営をした。 ①平日・毎日 10時～ ・計119日開催(4月～11月) (参加者) 454組 552名 ②場所 ・市立水の江小学校	
	広場「のびのび」		
	(1) 活動報告・・・親子で大きく動いて遊べる場の提供・運営をした。 ①毎月第1・3月曜日 10時～ ・計20回開催 (参加者) 133組, 159名 ②場所 ・ちはら台コミュニティセンター		

【3事業合同開催行事】

『クリスマス会』

- ① 平成30年12月13日(木)
- ② ちはら台コミュニティセンター2階会議室
- ③ 「あすみ吹奏楽団」による音楽会とサンタさんによるプレゼント
- ④ 参加者 118組, 子ども127名

『夏のお楽しみ会 影絵劇』

- ① 平成30年8月6日(月) ②ちはら台コミュニティセンター2階会議室
- ③ 「劇団かしの樹」による影絵劇 ④参加者 52名

高齢者支援部会

部会名	高齢者支援部会		部会長	秋山 廣志
部会目標	地域高齢者のコミュニケーションを図り、健康増進と生きがいつくりを推進するとともに、地域での孤立化を防止する。			
取組事業	① 会食会 (年10回)		② 茶話会 (年12回)	
事業名	ふれあいサロン (会食会)		事業名	憩いの広場 (茶話会)
責任者	柏原 裕子		責任者	若林 弘子
実施会場	コミセン第1, 2会議室 支所会議室 (運営委員会第2水曜日)		実施会場	コミセン第1, 2会議室、和室 視聴覚室
実施日 及び 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第3木曜日の会食会 11:00~13:00 (8月、1月は休会) (延べ利用者 361名) ・手作り昼食・誕生祝・談話・ 各種レクリエーション ・保健師による健康相談講座 (開催実績: 7/19, 11/15) ・薬剤師によるお薬の話 (3/28) ・普及員による健康体操 (開催実績: 5/18, 10/19, 2/15) ・4月20日 野外交流会 (かずさの道散策) (参加: 29名、スタッフ 27名) ・12月21日 クリスマス会 (参加: 34名、スタッフ 28名) 		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第1木曜日の談話、茶話会 13:00~14:30 (延べ利用者数: 375名) ・カラオケ交流会 14:30~16:30 (延べ参加者数: 178名) ・12月6日 クリスマス会 (利用者) 34名、スタッフ: 16名 <li style="text-align: center;">—スタッフ会議— (茶話会終了後に開催) (3ヶ月毎に定例会議開催) 	

見守り支援部会

部会名	見守り支援部会	部会長	小松 範人
取組内容	<p>①部会会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月~3月まで各月1回開催 (但し8月、1月は休会) ・見守り対象者を定期的に訪問し部会で情報を共有した。 ・3ヶ月毎に1回、安心訪問結果の報告書提出。 この間、対象者 13人 ⇒ 19人に増加 (見守り中断者 6人) 見守り総回数 472回 (平成31年3月末現在) <p>②安心訪問員活動養成講座 (6月、2名)</p> <p>③活動説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通いの場 2カ所: ウッドパーク桜の会 (7月) サウスビルズ (11月) シルバー会 <p>④学習交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市社協主催の見守り支援事業交流会に参加 (10月、5名) ・地域福祉フォーラム参加 (2月、2名) ・フォローアップ研修 12/19 24名参加、2班のワーク方式で開催。 		
現況	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り対象者: 19名 ・安心訪問員認定者: 28名 (市原市認定者) 他2名 合計 30名 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が増加する中で、いかに対象者の発掘をしていくか。 		

障がい者支援部会

部会名	障がい者支援部会		部会長	樋口 誠一郎
部会目標	障がい者が健常者と一同に集い、バリアフリースポーツ、ミニライブコンサート、野外活動を通じて、障がい者の心と体の健康維持・向上を図る。			
取組内容	① 部会会議 毎月第1土曜日 13:00～15:00 コミセン第4会議室 11回開催 毎回発行の「部会通信」を会議資料とし、毎回9～13名が参加して、直前の活動計画を審議し準備を行った。欠席者は部会通信に基づき各活動へ参加した。			
	② 虹の会 会場：コミセン第1～3会議室 13:00～16:00		③ ちはら台ボッチャクラブ 会場：コミセン第1～2会議室 9:30～11:30	
	1. 第42回、6月17日 46名参加 2. 第43回、9月9日 42名参加 3. 第44回 11月27日 45名参加 (市原社協年末助成事業) 4. 第45回、2月24日、52名参加 5. 第8回ふれあいコンサート 1月27日、52名参加 (一般参加者多数)		1. ボッチャクラブ 1) 第42回、6月17日、47名参加 2) 第43回 11月16日、14名参加 2. ボッチャ普及 1) 用具貸出・利用：延利用組織数、延べ34団体、延利用者数、833名 2) 講習会：清水谷小12月14日 5年生 123名	
	④ バリアフリースポーツ大会 コミセン体育室		⑤ 野外体験会 千葉市稲毛海浜公園	
	1. 第7回 5月27日 52名参加 2. 第8回 7月8日、40名参加 3. 第9回 10月14日 15名参加 障がい児童と家族がのびのび元氣よく笑顔で、多様な種目をプレイした。		10月30日(火曜) 障がい者2名、支援者5名、障がい者は支援者の力を利用し野外用車イス(HippoCampe)で芝地、稲毛海岸を快適、安全に試走した。	
	成果と課題	成果：1) 各プログラムへ新規参加者が増加し、総数の増加に寄与した。 2) 多様な宣伝手法によるお知らせ効果が現れ、自主的な参加者が増加した 3) ボッチャの魅力が浸透し、その役割が一層拡大した。 4) ちはら台内「通いの場」でボッチャが基本的な役割を果たしている。 課題：1) 障がい者の多様な要求に対応可能なプログラムの開発が必要である。 2) お知らせの内容が障がい者に解りやすく、参加行動を促すものとする。 不定期、僅少のため、障がい者は参加に障害を感じている。 3) 恒常的な活動を進める為の会場施設として仮称「健康福祉文化センター」の建設を行政へ要請する。		

小域福祉ネット部会

部会名	小域福祉ネット部会	部会長	古沢 裕之
部会目標	「市原市地域福祉計画」や「市原市地域福祉活動計画」が目標とする、地域住民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指すため、地区社協と連携・協働しながら小学校区単位において住民の日常生活を支える視点に基づく地域福祉活動の推進に努める。		
取組内容	通いの場づくりへの協力 ・市原市の「通いの場」についてPRを実施。 ・市原市の「通いの場」のちはら台地区内の申請組織の相談窓口。 ・「通いの場」の運営に関する相談窓口。		
課題	・敬老会が無くなり、活動目標が不明確となった。 ・小学校区ごとの体制の立て直しが急務。		